

第 18回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成 24年 8 月 2 日（木） 県庁 4 階大会議室		
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員長 広瀬 慎一（元富山県立大学短期大学部長） 委員 彼谷 環（富山国際大学子ども育成学部准教授） 委員 島谷 武志（弁護士） 委員 土開 由香（税理士） 委員 中村 和之（富山大学経済学部教授）		
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 富山県の入札・契約制度について 平成 23年度下半期の入札・契約方式別発注工事の状況について 平成 23年度下半期の一位不働入札及び落札率 100%入札、平成 23年度の入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について 平成 23年度の低入札状況及び指名停止等の運用状況について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成 23年度下半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：807件）		
一般競争入札	3 億円以上	1 件	（事案 1）一般県道姫野能町線道路総合交付金左岸高架橋（仮称）上部工工事
	1 億円以上	1 件	（事案 2）富山県立雄峰高等学校東・北校舎新築空調設備工事
	2 千万円以上	3 件	（事案 3）中川水系沖田川河川総合交付金放水路第 2 工区工事 （事案 4）都市計画道路福野城端線街路総合交付金道路改良工事 （事案 5）予防治山 千石 山腹工事
指名競争入札		4 件	（事案 6）伏木富山港（伏木地区）県単独港湾運河維持修繕荻布護岸補修工事 （事案 7）一般県道島地新名線道路総合交付金（災防）法面工工事 （事案 8）白岩川水系二口川県単独砂防改良護床工工事 （事案 9）県営ほ場整備 高善寺地区 S - 3 - 1 号排水路工事
随意契約		1 件	（事案 10）上市川第三発電所 ランナ更新及び水車発電機修繕工事
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	平成 23年度下半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

別紙

意見・質問	回答
<p>事案1の工事について、低入札となっており下請けへのしわ寄せが懸念されるが、どのような対策を講じているのか。</p> <p>事案3の工事について、応札可能業者数（30者）と比べて、入札参加業者が1者しかいなかった理由は何か。</p> <p>事案4の工事について、入札参加資格確認申請業者10者のうち、4者が辞退しているが、その理由は何か。</p> <p>事案5の工事について、工期が半年近く延長となっているが、契約額は減額となっている。その理由は何か。</p> <p>平成23年度下半期発注工事について、落札率が30%台のものが2件あるが、この契約額で適正な履行ができるのか。また、施工可能かどうか事前に確認しているのか。</p> <p>総合評価方式において、技術提案した業者が辞退又は失格となった場合は、その業者の技術提案の評価を行う必要はないのではないか。</p>	<p>低入札価格調査を実施し、下請業者との協議が整っているかどうかの確認を行うとともに、見積額を県設計額と比較した結果、概ね妥当だったことから、下請けへのしわ寄せに問題がないと判断したところである。</p> <p>また、契約後においても、下請負届等の提出により、下請業者との契約が適正に行われているかどうか確認している。</p> <p>明確な理由は分からないが、本工事は、市街地での放水路工事という特殊な工事であり、実績のない業者は敬遠されたのではないかと推察される。</p> <p>入札参加の意思を示したものの、その後提示された設計図書等で積算したところ、利益が見込めないと判断し、辞退したのではないかと推察される。</p> <p>隣接地権者との調整に時間を要したため、工事に着手できず工期が延長となった。また、調整の結果、工事の施工範囲が縮小したため、契約額が減額となったものである。</p> <p>いずれの工事についても、低入札価格調査の対象外であり、事前に調査は実施していないが、メーカー特約等により、資材を安価で調達できたため、契約額が低くなったものである。</p> <p>なお、労務費は県設計額とほぼ同額であり、施工状況にも特に問題はなく、3月に完了検査を行い、合格としている。</p> <p>総合評価の技術提案については、入札後速やかに落札決定を行うため、入札前に評価を行っているところである。技術提案の取扱いについて、今後、検討してまいりたい。</p>
<p>（その他）</p>	